

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和6年5月31日

提出区分	実績	整理番号	8	課題区分	C	
横断的な課題	地域資源や特性を活かし地域を支える産業振興					
地域重点政策	地域資源や特性を活かし地域を支える産業振興					
実施機関	南信州地域振興局			担当課	所属	林務課
事業名	「竹取再生」促進事業				電話	8-237-2437
					E-mail	minamichi-rimmu@pref.nagano.lg.jp
事業概要	目的 (目指す姿)	放置竹林に対する地域住民等の自主的な竹林整備及び竹資源の利活用の取組を促すことで、リニア新時代に向けた景観形成や竹を資材とした新たな用途開発を目指す。				
	現状と課題	管内の竹林面積は616haと全県の42%を占めているが、近年放置竹林の荒廃が進行し、農地や住宅地への侵入や不法投棄の温床、野生獣の棲み処となるなど地域の課題となっている。これに対し、地域団体等による竹林整備や、幼竹のメンマへの加工などの取組みも行われているが、活用例はまだ少ない状況となっている。当局では、更に竹の資源活用を促進するため、竹を土木資材として活用するための検討を令和4年度から行っている。この中で、竹材の高温乾燥試験を行い、土木資材として求める含水率10%に対し120℃の24時間乾燥で含水率4%前後の数値を得た。今後の実用化に向けて、竹資材をより低コストで安定的に生産することが求められている。				
	内容 (変更後の内容)	<p>土木用竹資材の低コスト生産に向けた短時間乾燥の試験</p> <p>○内容</p> <p>(1)高温乾燥処理:昨年度の試験より乾燥時間を短縮し、求める含水率10%を満たす時間を確認するため、根羽村森林組合において加圧蒸気乾燥を2回実施する。</p> <p>試験内容: 乾燥スケジュール①120℃ 12時間乾燥1回 乾燥スケジュール②120℃ 6時間乾燥1回</p> <p>(2)試験結果確認:長野県林業総合センター(木材部)への技術協力依頼により、乾燥後の含水率や収縮率の確認を行う。</p>				
事業期間	令和5年12月		～	令和6年3月		
事業費等	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考		
	高温乾燥処理	高温乾燥処理	131,133	滝下林産 税抜@540*100本 NPO矢作川源流の森ねば 税抜@548*119本		
	資材購入・運搬	高温乾燥処理材の購入と運搬	616,000	根羽村森林組合 木材乾燥工場 乾燥スケジュール① 396,000円 乾燥スケジュール② 220,000円		
	熱処理試験	林業総合センターへの運搬	9,640	飯田→塩尻2,340円 飯田山本→塩尻2,480円 各2往復		
	合計		756,773			
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況	
	土木用材として活用可能な竹材の確保本数		300本	219本	未達成	
事業実績・成果	<p>成果指標としていた竹材の確保数は、燃油・資材等の高騰により予定していた金額に対し製品化できる本数が減り、目標値を満たすことができなかった。試験の結果としては、乾燥スケジュール①は含水率平均4.4%、乾燥スケジュール②は含水率平均18.6%であった。</p> <p>これにより土木資材として活用するために目標とした、含水率10%を満たした乾燥スケジュール①が有効であることが判明し、竹材加工の低コスト化については目途がついた。</p> <p>また、含水率10%を満たした乾燥スケジュール①について、土木資材として活用するための収縮率の測定を行い整理をした。</p>					
今後の方向性	今回の試験により、竹材の乾燥スケジュールを確立することができた。今後は、地元工場や民間建設資材メーカー等に情報を提供し、竹材を活用した土木資材への利用を促す。					